

平成30年度事業報告

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

I 平成30年度重点課題

1 会員増強に向けた根本的施策の見直しと就業機会の拡大

理事会において会員増強に向けた根本的施策の洗い出しを行った。その内容を就業開拓委員会に委ね、項目ごとに整理し各委員会に担当を持たせた。目標値においては全国シルバー人材センター事業協会が示した100万人増強計画に基づき、当センターに示された「会員数690名」を今年度の目標に定めた。この目標に合わせ施策を具体化するために各委員会により以下の施策を検討し実施した。

(1) 就業開拓委員会・・・就業機会の拡大

企業等への就業開拓のほか、新たな試みとしてハローワーク青梅に訪問し求人(就業機会の開拓)の連携について協議、調整し、就業機会の拡大を図った。

(2) 事業委員会・・・イベント等による会員増強

産業祭参加時に、新たに入会相談コーナーを設け会員増強に努めた。

(3) 広報委員会・・・チラシ作成等の普及啓発

ア 2月に会員募集チラシを作成し新聞折込みにより配布。

イ 3月には女性会員募集チラシを作成し新聞折込みにて配布。

ウ 3月に市内巡回バス(るのバス)に会員募集の広告看板を設置。

エ 3月に市広報紙に会員募集の広告掲載。

以上の施策を実施。結果、会員の目標値達成には至らなかったが、2月以降の会員入会申し込みは前年度に比して増加した。今後も次年度に向けて効果が見込まれる。

2 職群班の自主・自立による運営強化

職群班に対し、職群班設置要綱について具体的な説明を行い、「自主・自立」「共働・共助」理念の基に運営するよう徹底し、班運営の強化を図った。

3 安全就業に対する会員の意識向上

新たな取り組みとして、職群班に属さない就業会員に対し、(公財)東京しごと財団(以下「財団」という。)より講師を招き、就業における事故防止等の研修を行い安全意識の向上に努めた。また、平成29年度から取り組んでいる、毎月の安全確認が出来る「個人別安全報告書」を就業会員に対し配付し、会員個々の安全意識向上に努めた。

II 事業実施報告

1 情報の収集及び提供

あきる野市産業祭等に参加し、当センターの事業内容・活動状況を市民に提供するとともに、地区ごとの清掃ボランティア活動を実施し、情報の収集及び提供を図った。

- (1) 会報「あきる野」を2回発行し、町内会・自治会等を通じ回覧し、センター事業に関する情報の提供を行った。

- (2) あきる野市産業祭に参加し相談コーナーを設け、センター事業に関する情報の収集及び提供を行った。
- (3) 市の協力を得て「市広報紙」に補習教室、パソコン教室、刃物研ぎ等の事業を掲載し、広く市民に情報の提供を行った。
- (4) 会員募集並びに女性会員専用の募集チラシを作成し、新聞折り込みにて配布した。また、「市広報紙」へ会員募集の広告を掲載、市民に対し周知を図った。
- (5) 市内巡回バス（るのバス）に会員募集の看板を設置し、会員募集の周知を図った。
- (6) センター事業に関する財団の各種会議に参加。また、財団発行の「シルバーとうきょう」、(公社)全国シルバー人材センター事業協会発行の「月間シルバー人材センター」等を通じて情報の収集に努めた。

2 調査研究

就業機会の開拓・拡大のため、会員及び高齢者の就業並びにシルバー組織の充実を図るため次の調査研究を行った。

- (1) 毎月の理事会において会員の入退会状況及び就業実績を分析し、今後の運営の検討を行った。
- (2) 会員の技能の能力等を把握するため、入会時に技能能力の確認を行った。
- (3) 請求書発行時に発注者に対しアンケート調査を実施（別添参考資料）、その内容を分析・調査し、就業等の向上に努めた。
- (4) 会員の地区会議参加率の向上を図るため、全会員に対し地区会議の意識アンケート調査を実施した。300名の回答を得、今後の地区会議の在り方について研究した。

3 就業に関する相談

随時、窓口・電話対応にて市民に対し就業相談等を受け付け、会員の登録を希望する高齢者に対しては、月1回の会員入会説明会を実施した。

また、毎月第2、第4月曜日には会員に対し就業相談日を設け、随時相談を受け付けた。

4 就業機会の開拓及び提供

希望と能力に応じた就業機会の開拓と提供を図るため、官公庁・企業、事業所及び一般家庭に対し高齢者就業の理解を求め、就業機会の開拓及び提供を積極的に行った。

(1) 開拓について

開拓については、会報「あきる野」、チラシ等を町内会・自治会に回覧し就業機会の開拓に努めた。また、就業開拓委員会が中心となり理事が、あきる野市の71社の事業所等を訪問し就業機会の開拓を図った。

あきる野市に対しては正副会長、常務理事（事務局長）により、あきる野市長に面談し、シルバー事業に対するより一層の理解と協力をお願いし、公共事業の新規就業の開拓に努めた。また、I 平成30年度重点課題 1（1）の報告のとおりハローワーク青梅と就業機会開拓について協議し連携強化を図った。

(2) 就業の提供について

提供については、就業会員の増員を図るためローテーション制を促進。分かち合いによる公共継続就業の交代を積極的に行い未就業会員に対しての就業機会の提供に努めた。

(平成30年度実績)

	年度末 会員数	就 業 実人員	就 業 率	受 注 件 数	延日人員 (月平均)	契約金額 (単位：円)
30年度	634	586	92.4%	2,988	61,157 (5,096)	284,684,228
29年度	665	616	92.6%	2,932	62,775 (5,231)	292,391,935
増 減	△31	△30	△0.2	56	△1,618	△7,707,707
増減率	△4.7%	△4.9%	△0.2%	1.9%	△2.6%	△2.6%

※平成30年度派遣事業実績（参考）

	受注 件数	実人員	延日人員	賃 金	派遣手数料 (消費税含 む)	(内センター 派遣手数料)	合 計
30年度	10	4	365	1,647,255	558,715	224,247	2,205,970
29年度	2	3	105	404,760	141,050	56,605	545,810
増 減	8	1	260	1,242,495	417,665	167,642	1,660,160
増減率	400%	33.3%	248%	307%	296%	296%	304%

5 研修・講習

(1) 事業関係研修・講習（財団・安全講習会含む）

研修内容（講師）	対 象 者	開 催 日	場 所	参加人数
小学校児童通学案内 研修（福生警察）	小学校児童通学 案内就業会員	平成30年4月2日（月）	センター2階会議室	60名
草刈研修① （内部講師）	草刈機使用会員	平成30年5月22日（火）	センター2階会議室 グリーン運動場	30名
草刈研修② （内部講師）	草刈機使用会員	平成30年5月29日（火）	センター2階会議室 グリーン運動場	38名

事故防止等の安全教育 [東京しごと財団] [専 門 講 師]	職群班に属さない 就業会員	平成 30 年 5 月 31 日 (木)	センター2 階会議室	46 名
視・障子張り替え研修 [東京しごと財団] [専 門 講 師]	視・障子張り替え就業 希望会員	平成 30 年 7 月 30 日 (月) から 9 月 4 日 (火) までの内 20 日間	東京しごとセンター	2 名
転倒予防研修 (東京しごと財団)	職群班長	平成 30 年 8 月 29 日 (水)	国分寺労政会館	2 名
役員研修 公益法人の在り方と役員の役割 (檜垣総合法律事務所)	理事・監事 地区委員・職群班長 各委員会委員	平成 30 年 9 月 6 日 (木)	五日市交流センター まほろばホール	45 名
自動車安全運転講習会 (福生警察署)	就業において自動車 を運転する会員	平成 30 年 10 月 24 日 (水)	センター2 階会議室	38 名
障子張り替え体験講習 [東京しごと財団] [専 門 講 師]	一 般 市 民 (60 歳以上)	平成 30 年 11 月 8 日 (木)	センター2 階会議室	7 名
安全就業緊急研修会 (植木剪定) [東京しごと財団] [専 門 講 師]	植木班班長 (事務局職員)	平成 30 年 11 月 12 日 (月)	(公財)東京しごと財団	1 名 (1 名)
毛筆筆耕体験講習 [東京しごと財団] [専 門 講 師]	一 般 市 民 (60 歳以上)	平成 31 年 1 月 16 日 (水)	センター2 階会議室	18 名
らくスマ模擬体験会 [東京しごと財団] [専 門 講 師]	パソコン就業会員	平成 31 年 1 月 24 日 (木)	国分寺労政会館	1 名
自転車安全運転講習会 (福生警察署)	就業途上に自転車を 使用している会員	平成 31 年 1 月 30 日 (水)	センター2 階会議室	29 名
植木剪定における危険予知 [東京しごと財団] [専 門 講 師]	植木就業会員 安全管理委員	平成 31 年 1 月 31 日 (木)	センター2 階会議室	21 名
草刈機による飛び石 事故防止講習 [東京しごと財団] [専 門 講 師]	草刈就業会員	平成 31 年 2 月 6 日 (水)	国分寺労政会館	5 名

らくスマ研修 〔東京しごと財団〕 専門講師	パソコン就業会員 (事務局職員)	平成31年2月13日(水)	国分寺労政会館	1名 (1名)
事故発生状況・安全就業 〔東京しごと財団〕 専門講師	安全就業リーダー 安全管理委員	平成31年2月18日(月)	センター2階会議室	29名
植木剪定講習 〔東京しごと財団〕 専門講師	植木従事会員 植木就業希望者	平成31年2月26日(火) 平成31年2月27日(水)	あきる野市中央公民館 公民館敷地内	18名
接 遇 研 修 (アップグロース)	小学校児童通学 案内就業会員	平成31年3月29日(金)	センター2階会議室	52名

(2) 会員研修・講習

研修内容(講師)	対 象 者	開 催 日	場 所	参加人数
フォローアップ研修 (三役・担当理事)	新 入 会 員	平成30年4月12日(木) 平成30年6月14日(木) 平成30年9月13日(木) 平成30年10月11日(木) 平成30年12月13日(木) 平成31年2月14日(木)	センター2階会議室	9名 9名 10名 5名 7名 7名
総会時講演会 「人生100年時代 今から 財産形成をしてみませんか」 〔山下税理士事務所〕 所長 山下明宏 氏	全 会 員	平成30年6月15日(金)	キララホール	168名

(3) 役員研修等

研修内容(講師)	対 象 者	開 催 日	場 所	参加人数
新任安全管理委員勉強会 (東京しごと財団)	安全管理委員	平成30年7月4日(水)	国分寺労政会館	2名
会 長 会 議	副 会 長	平成30年7月9日(月)	(公財)東京しごと財団	1名
新任理事研修 (東京しごと財団)	新 任 理 事	平成30年7月18日(水) 平成30年7月25日(水)	(公財)東京しごと財団 国分寺労政会館	1名 6名
安 全 大 会 (東京しごと財団)	安全管理委員	平成30年9月28日(金)	(公財)東京しごと財団	3名

会 長 会 議	副会長	平成 31 年 3 月 11 日 (月)	(公財)東京しごと財団	1 名
---------	-----	----------------------	-------------	-----

(4) 第6ブロック関係研修会

研修・会議内容	対 象 者	開 催 日	場 所	参加人数
第6ブロック 安全就業研修会	安全管理委員	平成 30 年 9 月 5 日 (水)	(公社)立川市シルバー 人材センター	2 名
第6ブロック三役研修会 (適正就業)	会長・副会長 常務理事	平成 31 年 2 月 8 日 (金)	(公社)立川市シルバー 人材センター	3 名

6 その他事業

(1) 安全就業対策の推進

重点課題にもあるように、センター事業の根幹である「安全はすべてに優先する」を全会員が認識し、会員一人ひとりに安全意識の浸透を図り、「危険予知」「私は事故を起こさない」を実践するために次の事業を行った。

- ① 安全朝礼を毎月月初に12回開催した。また、平成27年度の死亡事故を風化させないため、11月20日に「271120・安全宣言・安全はすべてに優先する」をスローガンに安全朝礼を1回実施、安全意識の高揚を図った。
- ② 安全リーダー会議 1回開催
- ③ 「安全管理委員会だより」を毎月一回発行し、会員個々による安全意識の高揚に努めた。
- ④ 安全管理委員会単独の研修会として、上記5研修・講習(1)事業関係研修・講習のとおり「自転車安全講習会」「自動車安全運転講習会」「安全リーダー研修」を実施した。
- ⑤ 就業前の機器器具類の安全点検を毎日実施した。
- ⑥ 安全就業適正巡回パトロールに際し、就業前準備体操をするように周知した。
- ⑦ 就業現場において作業前に安全確認をするよう周知徹底した。
- ⑧ 植木作業において転落事故が発生したため、安全就業基準の見直しを行なった。
- ⑨ 安全管理委員、理事による安全就業適正巡回パトロールを毎月一回実施し、安全就業の指導を行った。
- ⑩ 新入会員のフォローアップ研修に際し、財団発行の「安全のしおり」を活用、安全就業の指導を行った。
- ⑪ 会員の健康管理として、市で実施する市民健康診査並びに東海大学八王子病院健康管理センターとの連携による人間ドックの受診を積極的に呼びかけ、会員自らの健康管理の重要性を周知した。
- ⑫ 安全就業の徹底を図るため、傷害事故等の現場を巡回し、聞き取り調査を実施。事故の分析、対策を検討し事故の再発防止に努めた。
- ⑬ センター主催の技能研修に合わせ安全講習会を実施した。

- ⑭ 安全就業強化月間を4月、7月、11月に実施し、安全就業の徹底を図った。
- ⑮ 就業会員を対象に、会員自ら年間の安全健康計画を立てその計画が実践されているかを確認できる「個人別安全確認報告書」を渡し、会員個々の就業の安全と健康管理に対する意識の高揚に努めた。
- ⑯ 就業中に常時携帯できる緊急連絡カードを作成し、就業会員に配付した。
- (2) 長期就業の適正化及び80歳以上就業会員の安全就業に対する面談
 就業の適正・公平・安全を確保し、全ての会員が能力に応じて分かち合いの精神のもと、公平に働く機会を得られるように長期就業の適正化について理事会で検討した。
 その結果、公共の契約を中心に11箇所の26名の交代者を決定。未就業会員並びに継続的な就業に就いていない会員163名に対し就業募集案内を通知した。この募集による就業希望者は19名であった。公平な選考を図るため、理事により希望者に対し面接を行い理事会において選考し新規就業者の決定を行った。

80歳以上就業会員の安全就業に対する面談を理事が実施し、57名の会員に対し安全の確認を行った。

(3) 女性委員会活動

女性会員の活性化並びに増強を図るため以下の活動を行った。

- ① 女性委員会の活動状況をセンター「会報」に掲載。女性委員会通信（年4回）発行し活動の周知を図った。
- ② 女性委員会活動報告

活動内容	開催日	場所	参加人数
女性会員交流会	平成30年5月11日(金)	岩蔵温泉 司翠館	25名
定時総会講演会 「人生100年時代 今から財産形成をしてみませんか」 山下税理士事務所 所長 山下明宏 氏	上記、5研修・講習(2)のとおり		
除草ボランティア	平成30年6月4日(月) 平成30年9月28日(金)	センター敷地内	30名 25名
福祉施設除草 ボランティア	平成30年10月3日(水)	公立阿伎留医療センター	21名
男性料理教室	平成30年11月12日(月) 平成31年2月22日(金)	中央公民館実習室	23名 24名
女性料理教室	平成30年12月7日(金)	中央公民館実習室	30名
カルチャー教室 (小物作り)	毎月4回(火曜日)	センター作業場	常時7名
カルチャー教室 (編み物教室)	毎月4回(火曜日)	センター作業場	常時11名

カルチャー教室 (体操教室)	毎月4回(水曜日)	センター2階会議室	常時8名
-------------------	-----------	-----------	------

(4) 社会奉仕活動

地域社会において健康に働けることを感謝し、また、生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために以下の社会奉仕活動を行った。

活動内容	開催日	場 所	参加人数
社会奉仕デー	平成30年5月14日(月)	あきる野市役所・秋川駅周辺・武蔵五日市駅周辺・武蔵増戸駅周辺・森の下公園	141名
地区ボランティア			
第1地区	平成30年10月20日(土)	ふれあいセンター周辺	45名
第2地区	平成30年10月18日(木)	秋川駅北口通り・水道局通り沿道	30名
第3地区	平成30年10月14日(日)	秋川駅南口から圏央道沿道	36名
第4地区	平成30年10月7日(日)	永田橋通り沿道	29名
第5地区	平成30年10月10日(水)	森の下公園・武蔵増戸駅から山田交差点沿道	27名
第6地区	中止		
除草ボランティア・福祉施設ボランティアは、6その他事業(3)女性委員活動②の報告のとおり			

(5) 会員の確保と広報活動

会員確保と広報活動については、以下の事業を行った。

活動内容	内 容 説 明	実施回数
会員入会説明会	60歳以上の高齢者に対しセンターの事業活動を説明、入会を募った。	12回 (毎月1回)
会報「あきる野」の発行	会員及び関連団体に配付。町内会・自治会を通じて回覧、ホームページにも掲載し事業活動の周知を図った。	2回
市広報紙の活用	市広報紙に、補習教室・パソコン教室・刃物研ぎ等の開催の記事を載せ広く市民に周知した。また、広告欄に会員募集の広告を掲載しPRに努めた。	8回
会員によるPR	会員によるPR	随時
	就業開拓委員会を中心に理事によるPRを実施した。	20回
	社会奉仕デー・地区ボランティア・女性委員会主催ボランティアに際しのぼり旗によるPRを行った。	3回
	市産業祭に参加し、事業活動並び会員募集のPRを行った。	1回

その他PR	ホームページに会員募集及び事業活動内容を掲載し、PR活動を行った。	常時
	センター所有の車両にPR用のマグネットを貼り、市民への周知を図った。	常時
	会員募集チラシ並びに女性会員募集チラシを作成、新聞折り込みにて配布した。	2回
	市内巡回バス（るのバス）に会員募集の広告看板を設置し、PRに努めた。	常時

7 会議

- (1) 定時総会 平成30年6月15日（金）秋川キララホール 1回開催
- (2) 常任理事会 14回開催（内臨時2回）
- (3) 理事会 13回開催（内臨時1回）
- (4) 監査会 3回開催
- (5) 就業開拓委員会 6回開催
- (6) 事業委員会 5回開催
（研修委員会・生きがい事業推進委員会 各1回開催）
- (7) 広報委員会 13回開催
- (8) 女性委員会 5回開催
- (9) 安全管理委員会 8回開催（内臨時2回）
- (10) 正副地区長会議 2回開催
- (11) 地区会議〔6地区〕 各2回開催
- (12) 理事・監事・地区委員合同会議 2回開催
- (13) 学校施設管理業務合同職群班会議 1回開催

8 事務局

- (1) センターの事業を適正に運営するために、引いては役員・会員のサポート役を担うべく資質の向上に努めた。
- (2) 第6ブロックの事務局長会、次長会、職員連絡会（業務Ⅰ・業務Ⅱ・庶務経理）、安全就業推進員連絡会の各会議に出席し、各分野における関連法規、公益法人の運営に関する情報の収集等の研究を行った。
- (3) 財団主催による各種職員研修に積極的に参加し、自己能力の研鑽に努めた。
- (4) 臨時職員1名削減、職員が一人丸となって事務の効率化を図った。

※ 会員親睦事業

- (1) 会員親睦ハイキング 平成30年11月14日（水） 29名参加
- (2) 会員親睦日帰り旅行 平成31年 2月13日（水） 33名参加